

# 無職転生

異世界行ったら  
本気だす

FUJIKAWA  
YUKA  
フジカワ ユカ

原作：理不尽な孫の手  
キャラクター原案：シロタカ

3



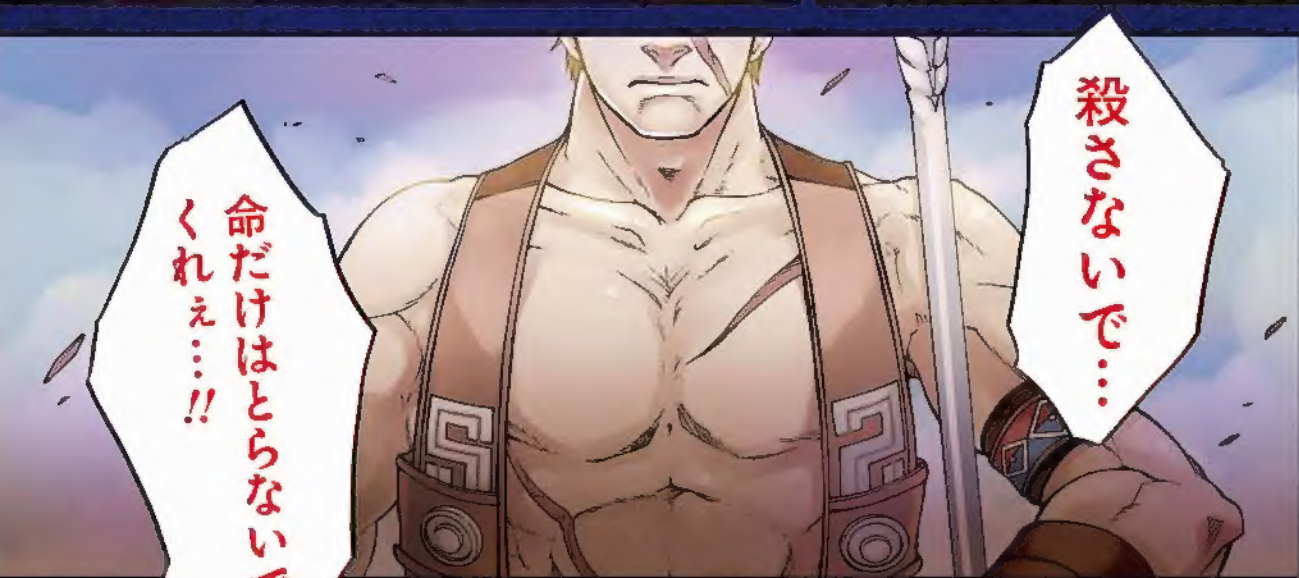




た頼む…

ヒイイイ

うわああ  
出たあつ



命だけはとらないで  
くれえ…!!

殺さないで…



フッ



# 無職転生

異世界行ったら  
本気だす

③

フジカワ ユカ  
FUJIKAWA YUKA

原作:理不尽な孫の手  
キャラクター原案:シロタカ

第11話

バースデー

第11話 ◆ バースデー	001
第12話 ◆ 昔話	031
第13話 ◆ 恋の迷宮	043
第14話 ◆ サプライズ	069
第15話 ◆ 確約	097
第16話 ◆ ターニングポイント	113
書きおろしSS ◆ 知己との再会	154
side story ◆ グレイラット家の奥さん	161





紳士淑女の  
みなさまがた  
本日はよくお集まり  
いただいた

これよりわが孫娘  
エリス・ボレアス・  
グレイラットが  
10歳をむかえる  
記念として

誕生日  
パーティーの  
開幕を  
宣言する!!



フィリップ様

さて

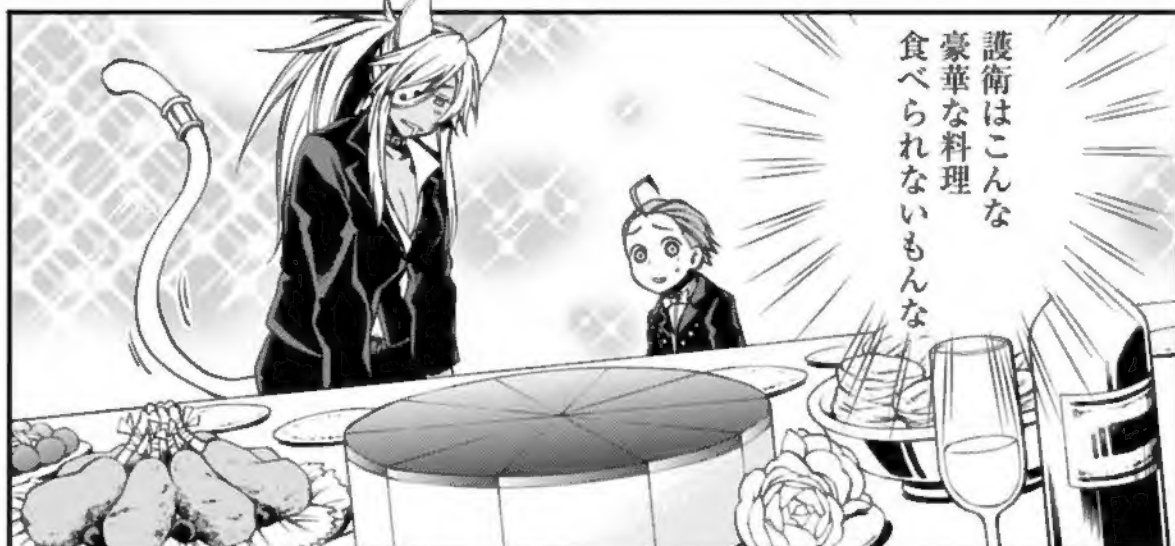
娘をレディーに  
させたのは  
いったい誰かな?



見違えた  
だろう?

















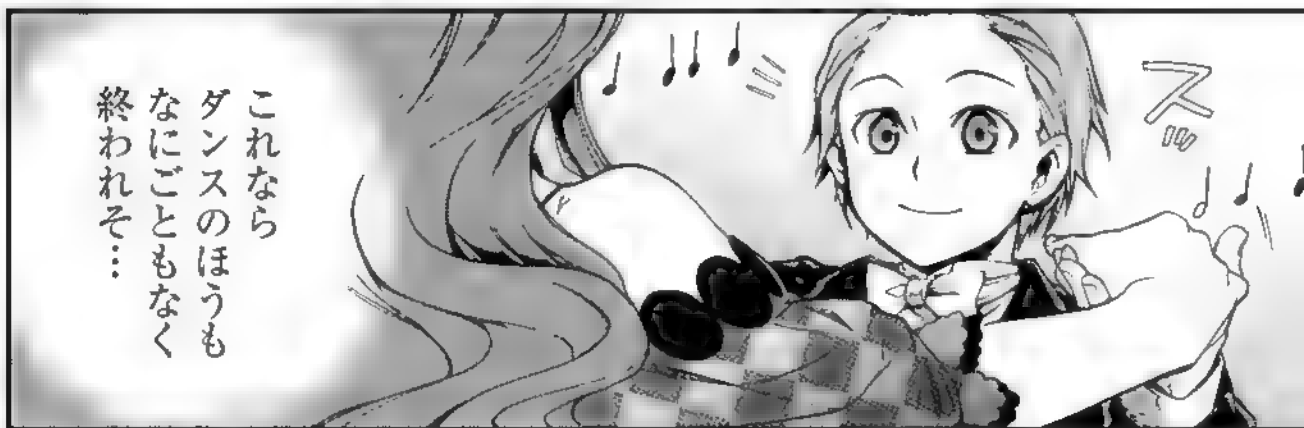






なんだ

エリスもやれば  
できるじゃないか



これなら  
ダンスのほうも  
なにごともなく  
終われそ…



そんなこと  
なかった—!!!























調子いいですね  
エリス！ なんだか  
僕とても楽しい  
です！



具合が  
悪いわけじゃなくて

緊張していた  
だけだったのかも

フェイントも  
いらなくなつて  
きてる



えええ！

私もとっても  
楽しいわ！！













さどうぞ

パーティーのときのお料理を少しだけ運んでおいてもらったのです



ストップ!!!

やったー!!  
今日は朝から  
なにも食べて  
なかったのよね...



今夜は無礼講です  
僕らだけで  
気兼ねなく  
楽しみましょう!











…これであたしも  
魔術師を  
名乗れるのか…！



うむっ  
くるしゅうない



えっ？ そうなの！？  
名乗れちゃうの！？  
俺 ロキシールから  
そんなこと  
きいてないけど！？



ううん違う  
私も杖がいい！

ちなみにこれは  
僕の土魔術で  
パーツごとに  
作った精密な  
フィギュアでして  
僕の処女作  
⅓ロキシールフィギュアは  
行商人が金貨一枚で  
買いつつくれるほど  
できがよく…



えっとエリスは  
こっちの  
⅓シルフィフィギュアが  
いいんでしたっけ？

…まあいいや









これを



一族に伝わる  
魔除けの指輪だ

つけていると夜  
狼に襲われない  
…といわれている



た

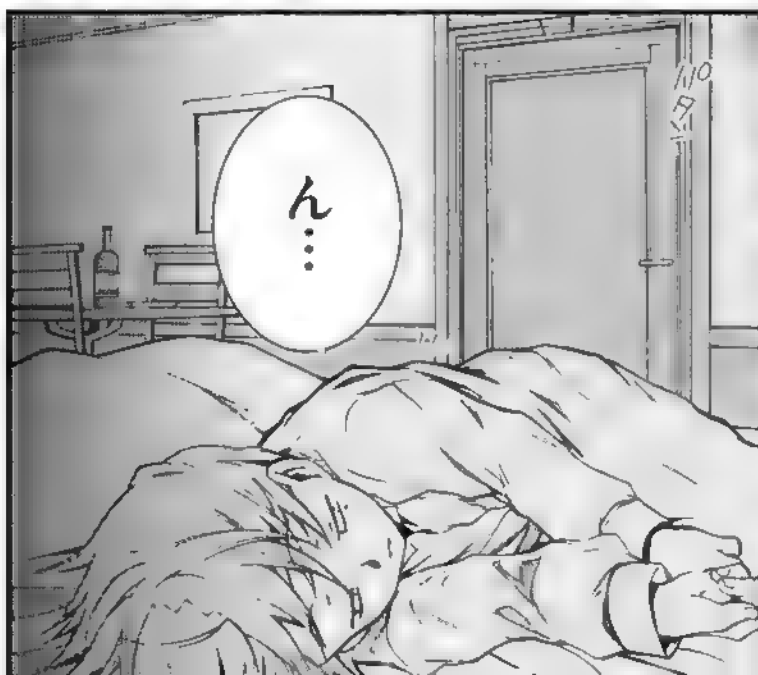
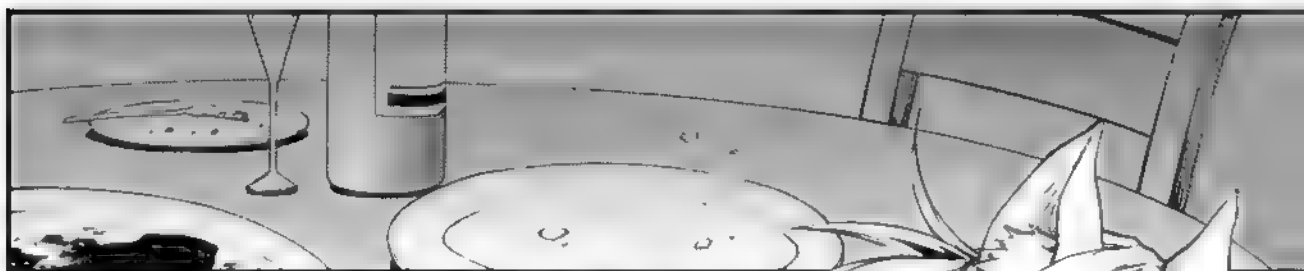
大切に  
します…!

俺があげたときより  
うれしそうだな…



…いいの？

ああただの  
迷信だしな













いや  
なにか  
調べものかい？



あっ  
フィリップ様  
読書の邪魔を  
してしまい  
ましたか？



魔神語の参考書  
なんてウチに  
あったかな…あ  
これとか  
どうだい？

ありがとう  
ございます



はい  
じつは先日  
城下町で  
魔神語の本を  
買ったのですが  
さっぱり  
読めなくて…

魔神語？



うーん…  
ちよつと違う  
本のようです

そうか…

でもなんでまた  
魔神語の本  
なんかを？





はい

幸いこの書庫は  
歴史書が  
充実しているので

歴史とともに言語も  
習得できたら  
いつか役に立つのではと  
思いました



なりんで

じつは購入目的だった  
「シグの召喚魔術」  
って本が売り切れ  
ちゃってたから

その本を  
うれた  
よ！  
置いてあったコソ本を  
たまたま  
買ったっただけ  
なんだけどね！



でも半分は本当だ  
生前の俺は外国語が  
大の苦手だったけど...

この身体は妙に  
物覚えがいいし  
使えるものは  
どんどん使って  
いかねばな

そうか  
そうか

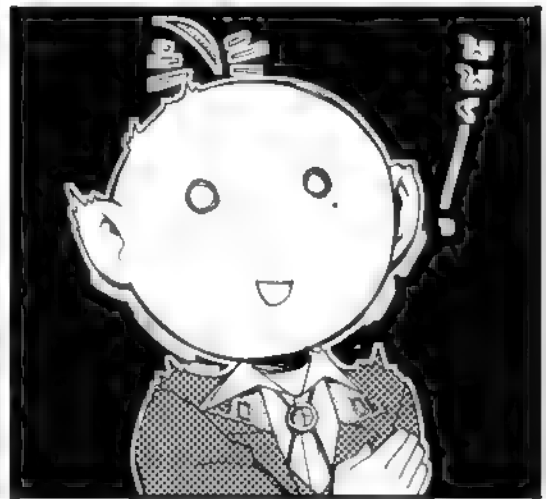
自由に  
見て  
いいよ

ありがとう  
ございます











いいいいえ別にい〜っ  
全然 気にしてない  
ですしイ〜〜〜っ

全然  
傷ついたりとか  
してないです  
しイ〜〜〜っ

あーうん  
ごめんね？

すっごく  
傷ついてるね？



君はなににも  
悪くないよ

ただ……  
彼女はボレアス家に  
伝わる悪しき伝統の  
被害者なんだ



じつはね

エリスには  
兄と弟が  
いるんだ



君はどうして  
エリスに兄弟が  
いないか  
気にならなかった  
かい？

……  
少しだけ……



けど私が兄との  
ボレアス家の  
跡目争いに…

負けて…ね

ボレアス家の  
現当主である  
兄に

息子たちを  
取られて  
しまったんだ



取られた？

表向きは王都で  
勉強を学ばせる  
ための養子

でも本当は  
ただの…伝統さ



…人質とか

次代の権力闘争を  
未然に防ぐ  
…みたいなものかな

—それゆえに

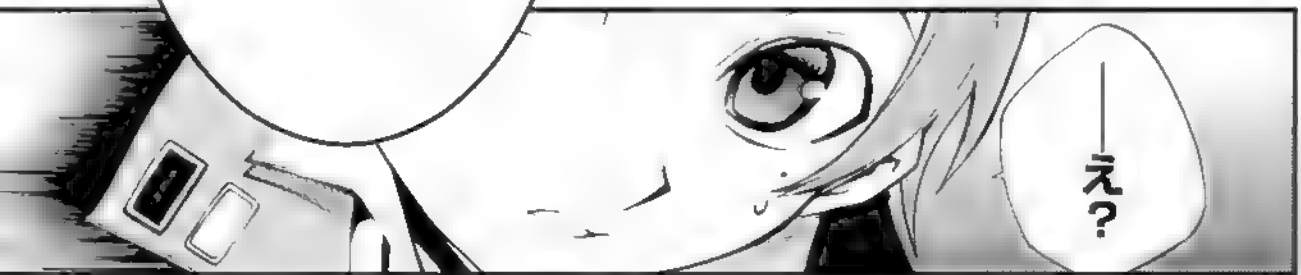
ヒルダは君に  
ちよつとつらく  
あたってしまう  
ようだ

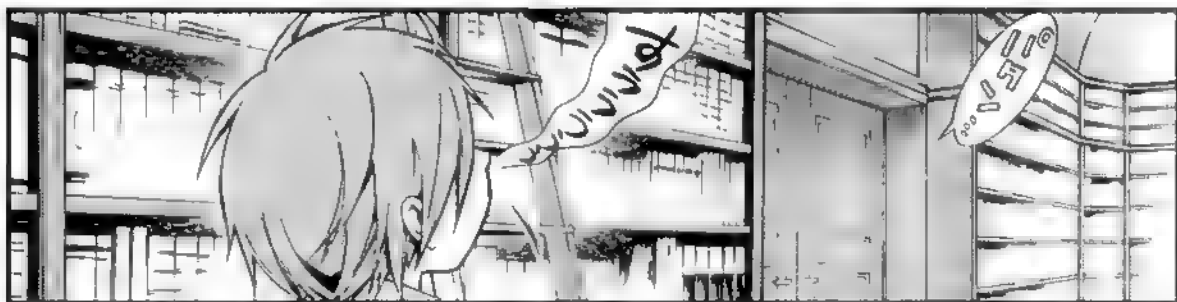
私の息子は  
ここにいないのに

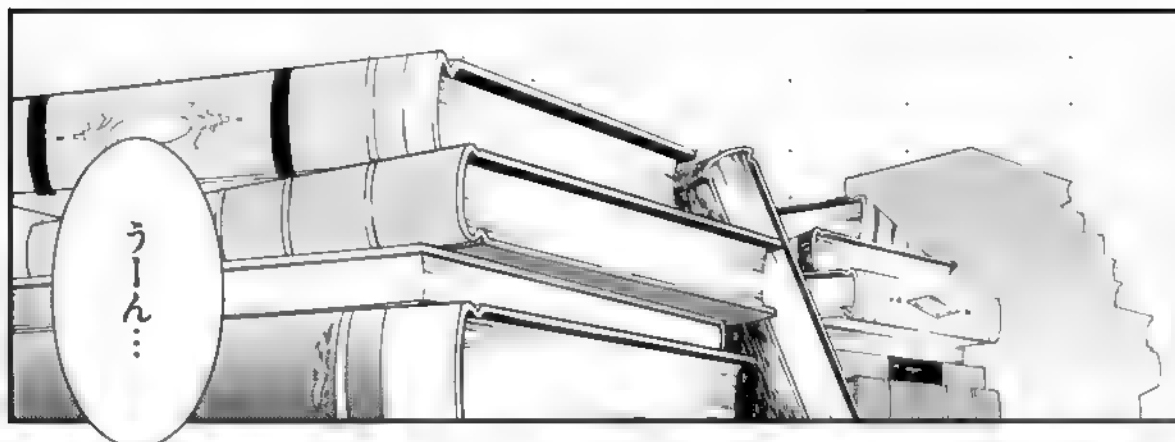
なぜよその子が  
我がもの顔で館を  
歩いてるん  
ですか!?

—とね

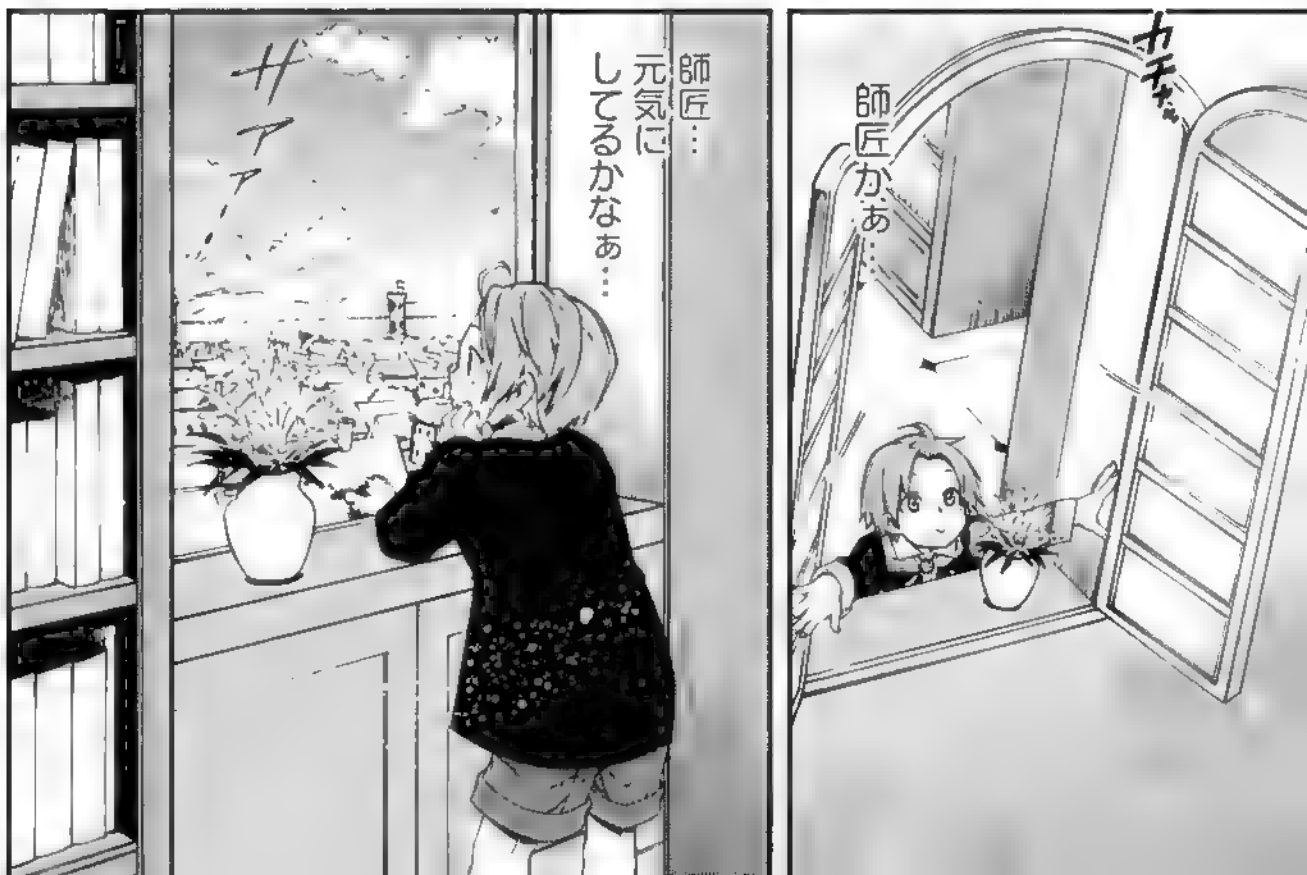














さあぞ  
そこゆく  
皆々さま

ピロロ


ピロロ

ひとつ歌を  
きいていかな  
かい？



今日の物語は  
恋に恋する  
少女


運命の出会いを  
夢みたロキシーという  
冒険少女の歌を  
歌おうじゃないか



ねえ  
そこの君！

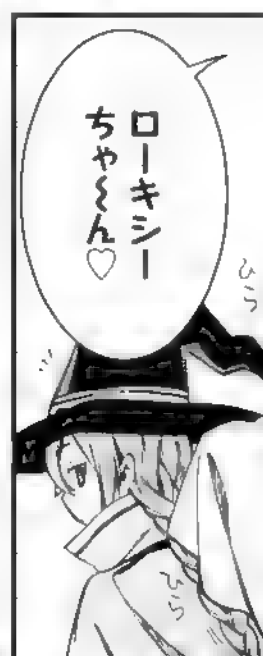
第13話

恋の迷宮



僕たち迷宮に  
潜って腕試しする  
Eランクメンバーを  
募ってるんだけど…

よかったら君も  
一緒にどうだい？





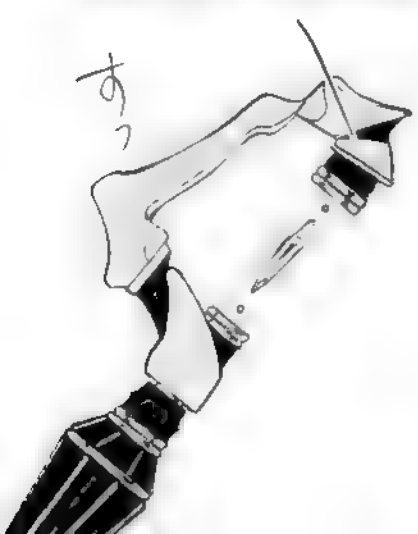


はああ  
あ…っ

パメラ  
サブタンク Bランク

ドドドド  
シヤアアッ



















あなたが私を  
選んでくれなくてもいいの…

私は好きな人の  
幸せを願うだけ…

あなたの  
幸せのためなら

私はいくらでも  
身をひくわ…



なんと  
複雑な関係！  
どうでる  
ロキシー…

わかります  
そのお気持ち!!



なにやってるんですか  
野宿の準備  
手伝ってください

あ  
ハイッ

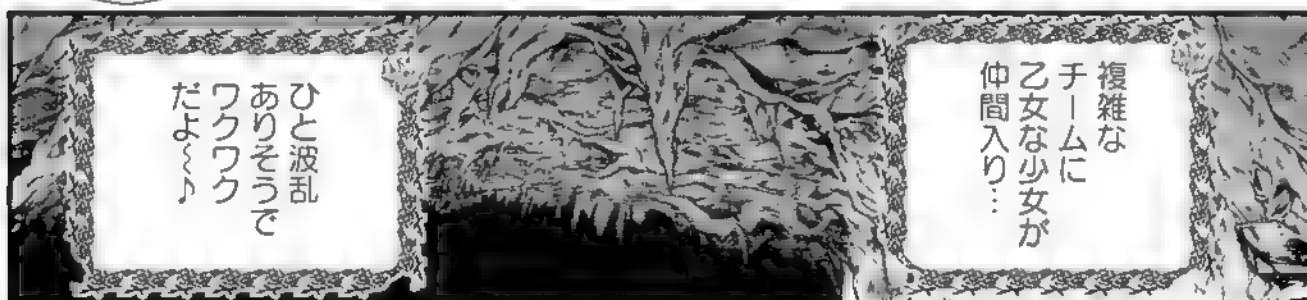
おーい  
水汲んで  
きたよー



詩人  
さん？

ああつ  
いじらしい乙女  
ロキシー!!

そんなボエムが  
きこえてくるYO!!  
溢れでてるYO!!!



複雑な  
チームに  
乙女な少女が  
仲間入り…

ひと波乱  
ありそうで  
ワクワク  
だよー



…











そのことなら  
別に気に  
しないで...



デスクロー...!?  
Sランク冒険者が  
束になって

やっと倒せた  
っていうあの...!?



なっ  
デスクロータイガー!?  
は...  
こ...  
所...!





ウィンド  
スマッシュ!!



ドーンさん!  
ちよっ  
はなして...



え...?  
ウソ  
ドーン!!

...パメラ  
ケガ...  
ないか...?



カッ



じあッ



カッ  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア



デスクロータイガー  
たしかに強敵...!  
...でも!

アイン・ジュン!!!

胸のコアを…  
叩けば…!!!



ドーンさん!

今  
回復魔術を…

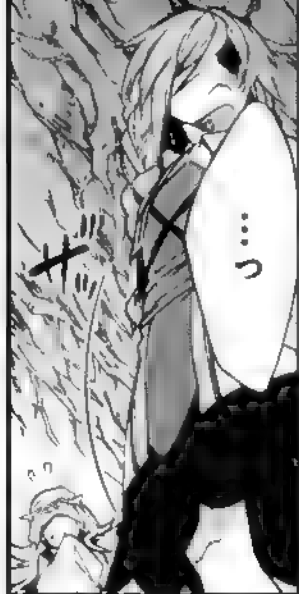


アッ  
アッ  
アッ



ガ  
ア…ツ







私は

自分の仲間を  
見捨てるような  
殿がたと  
そいとげる気は

毛頭ありません!!!

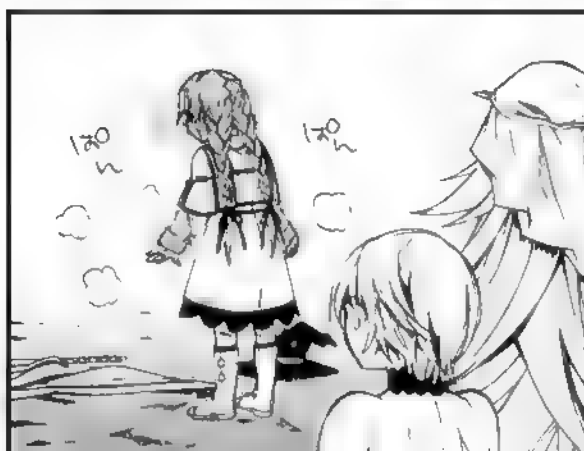


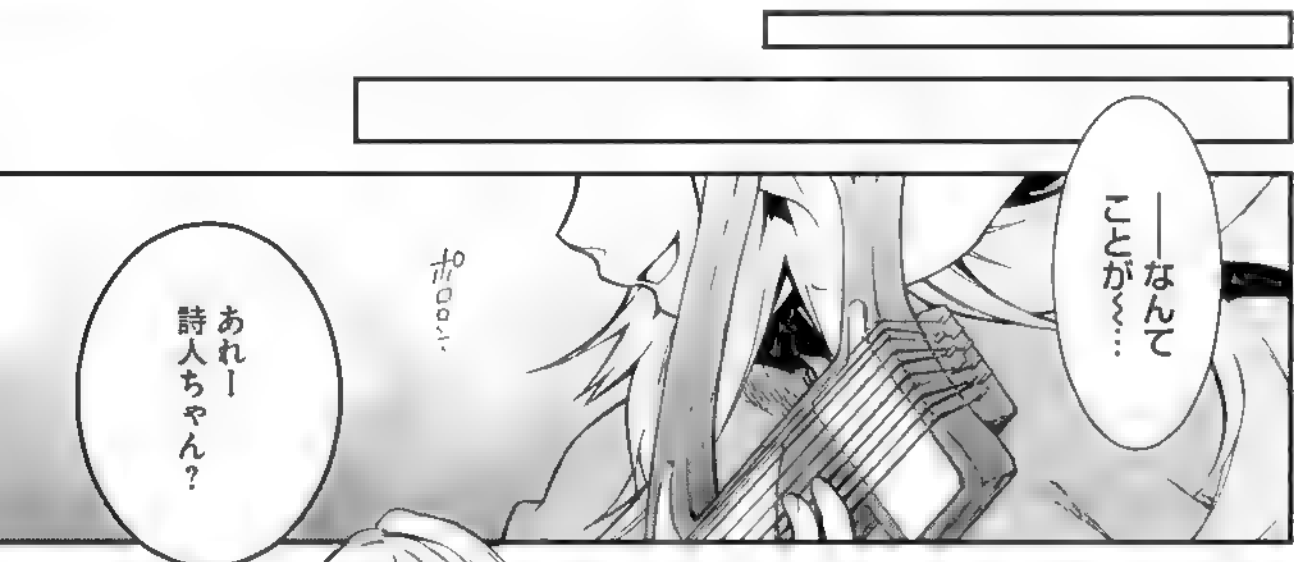
あんな男  
やめて  
おきなさい!!

あなたには!  
あなたを  
心から愛し  
身をしていして  
守ってくれる  
ドーンさんのほうが  
お似合いです!



パメラさん!!









そんなもんかな  
元気にしてたかい？

その後  
どうしてた？

うん  
じつはー！



サムの奴が  
私たちを  
便利な駒としか  
見てなかったことが  
わかって

トライアドは  
解散したんだ

その後私は  
ドーンと  
結婚して

今は冒険者をやめて  
ここロアの街で  
仲よく暮らしてる

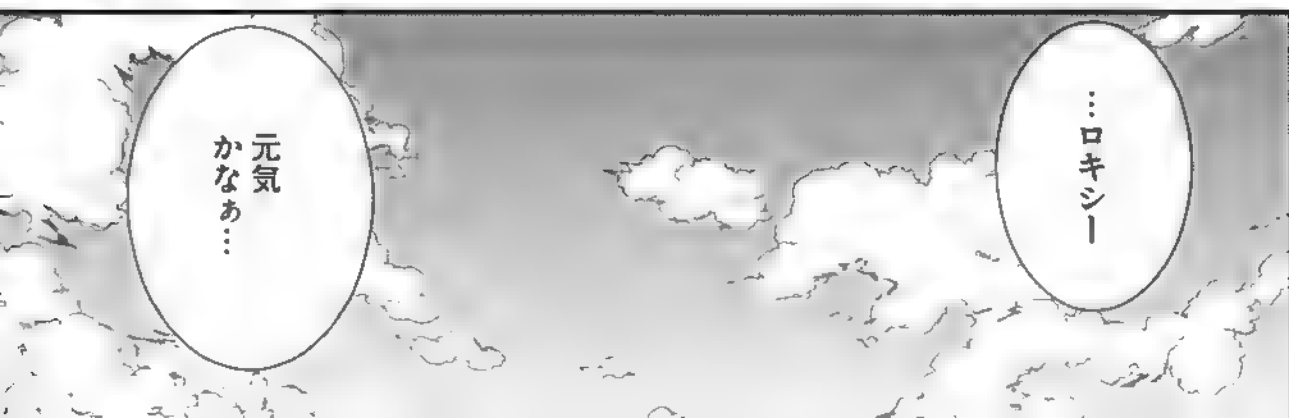


今はすつごく  
幸せだよ！

そうか  
そうか！

あのとき  
ロキシーの  
言うとおりにして  
よかったーって  
思ってる

なんていうか  
これは神のお告げ！  
って感じが  
したんだよねー



びえつつ  
くしゅつつ







あいつらは  
どこにいったか——  
どっくにいるんだ——？



その美しくモフモフな  
毛並みは まるで  
シルクのような手触り



艶やかな唇から  
紡がれる音色は

ときに私を落ちつかせ

ときに私を  
震えあがらせる

その尻尾は  
煽情的に踊り  
私を魅了する——！

くわ

くわ

みちっ  
凛とした  
立ち居振る舞いを  
支えるしなやかな  
筋肉は

キミの魅力をより一層  
ひきたて

30  
リッ

ギレーヌ!!

いかがですか

やったあー！

獣神語は  
ばっちり  
通じたぞ

内容はよく  
わからなかったが

ん？

うん







ほうそれは  
すごい！

でしょう！

これにより  
魔神語も  
サクサクと！



じゃーん♪

シーローンにいる  
我が師匠に手紙を  
出したら

なんと師匠直筆の  
魔神語教科書が  
届いたのです！！

ててて〜ん♪



そういえば  
師匠の手紙に  
よると

僕が作った  
1/8ロキシー  
フィギュアを

なんとシーローンの  
王子様が購入  
されたとかで…



さすが僕の師匠は  
やることが  
違います！





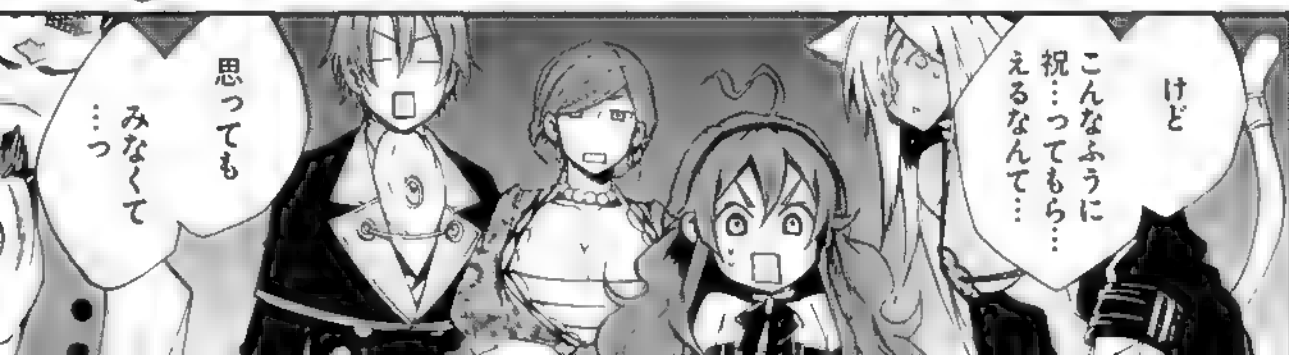




















お酌いたしますわ  
ささーこちらに

あちらに  
極上のお酒を  
用意して  
ございます

むむう...



そんなに  
叫ばれては  
喉が渴いて  
しまいますわ

まあまあ  
お義父様♡

ぬ？



コシ  
...すまないね

君の父パウロは

ボレアス・グレイラット  
と敵対している  
ノトス・グレイラット  
から勘当された身でね



小胆なノトスの  
現当主は

「パウロの息子が  
ボレアスの  
後ろ盾を得て  
ノトス家を  
取り戻そうとしている」

——と考え  
かねないから

君が今ウチに  
いることが  
バレルのは  
マズいんだ

...なるほど











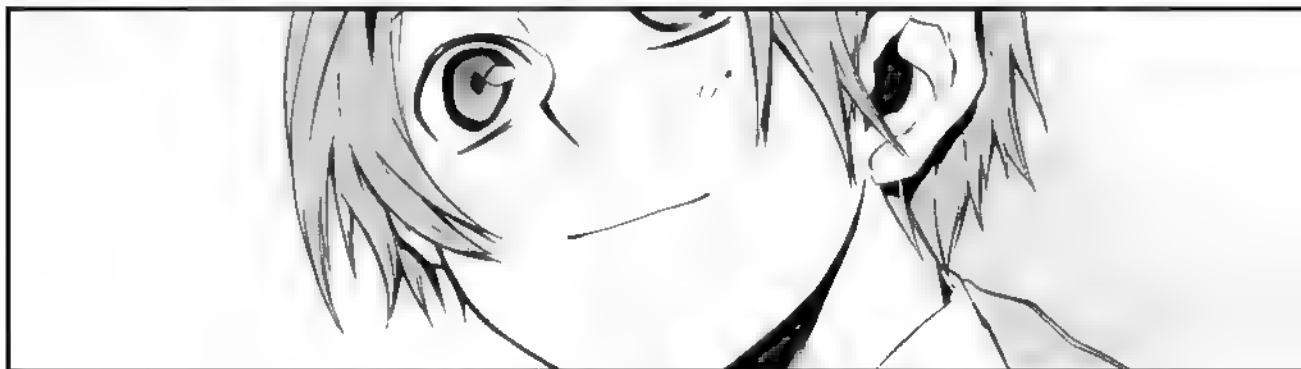












はい！

———  
これ　そっか

家族の  
感覚だ――







なんだ…？

エリス…？



第15話

確約

もう寝たと  
思っていたが…

背伸びしすぎな  
格好じゃ  
ないかい…？

ど

どうしたんですか  
エリス…？

…ていうか  
ちよつと…

えつと…

ルーデウスも  
せっかくの誕生日に  
両親に会えなくて  
寂しいだろうから

今日は一緒に  
寝てあげるわ！

ええええ！？  
エリスったら  
最近デレてきて  
くれていると  
思ったけど  
そこまで！？

エリス  
好感度



キラッ



スキ

たしかに最近の  
エリスは俺の  
ストライクゾーンに  
入りつつあるが  
俺はまだオトコノコの日すら  
迎えていない



ツンデレ  
ロリお嬢様の  
ハジメテで  
ハジメテの  
ハジメテを！

いや



おおかた

あのふたりの  
策略だろう…



おーっほっほっ  
ルーデウス  
私からの誕生日  
プレゼントは  
お気に召して!?

いいのよ〜  
好きにして  
いいの！

フフフそうだ  
どうせなら  
結婚して  
しまいなさい！

そしてともに  
ボレアス…いや  
グレイラットを  
のっとうじや  
ないか!!!

アカン…  
手を出したが最後  
泥沼の未来しか  
見えん…





ちょ

ちよつと  
くらいなら

いいわよ……？

ここは丁重に  
お帰り  
いただこう

きよ今日は  
さみしい気持ち  
なので

エツチなこと  
しちやうかも  
しれませんよ？







マジで!?  
おじさんそんなこと  
言われたら……

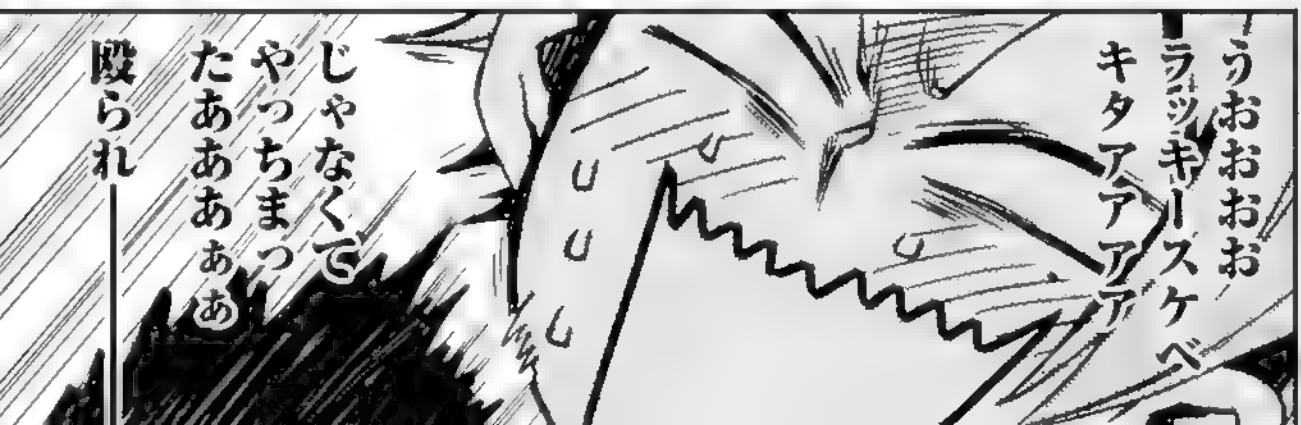


さ  
手を……

って  
いやいやいや  
ダメでしょう!  
とりあえず  
ベッドから  
下りましょう!



ほい



うおおおお  
ラッキースケベ  
キタアアアア

じゃなくて  
やっちまっ  
たああああ  
殴られ









イヤア!!!!



イヤッ

イヤッ

イヤアアア  
アアアアア



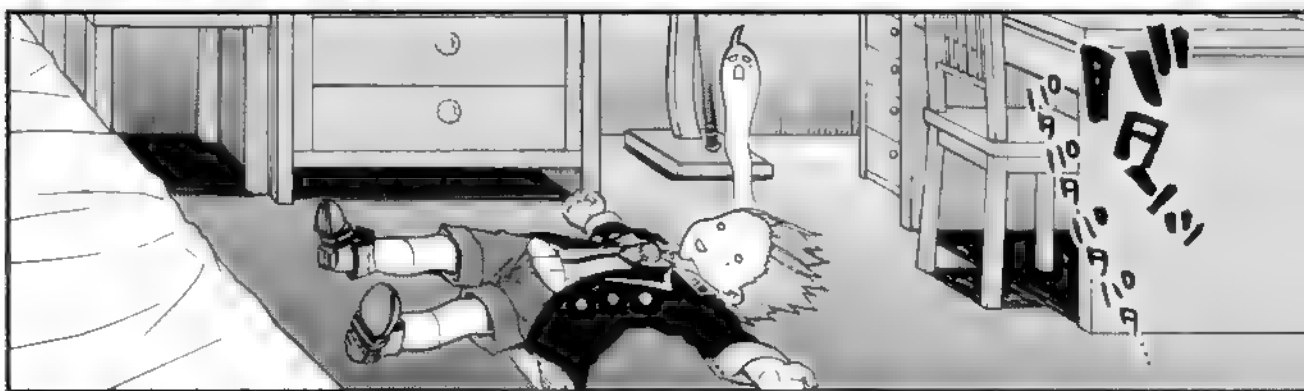
イヤッ





ルーデウスの  
バカッツツ!!!!

ちよっとって  
言ったじゃない!!



バカッツツ



ゲームをたくさんやって  
ヒロインの気持ちでも  
わかった気でいたか?

これはゲームじゃない  
現実なんだぞ



…バカか俺はっ

これだから  
DTは…



シ———ン

俺は

エリスの気持ち  
を考えていなかった

ルーデウス!!

ふふルーデウスも  
泣くことあるのね

今日はルーデウスが  
ビックリするものを  
用意したの!

ルーデウスは  
すごい魔術師なのに  
杖を持っていないのは  
おかしいものね!

はい!

これは  
グレイラット家からの  
贈りもので特注の杖  
『傲慢なる水竜王』よ!

よし  
よし

ルーデウスも  
両親に  
会えなくて  
寂しいだろうから

今夜は  
一緒に  
寝てあげるわ

エリスはずっと  
俺のことを  
考えてくれていたのに

エリスは







きよ今日は  
特別な日だから  
許してあげるわ…



こういうのは  
まだ早いから  
…あと5年！

あと5年して  
ルーデウスが  
成人したら…ね！

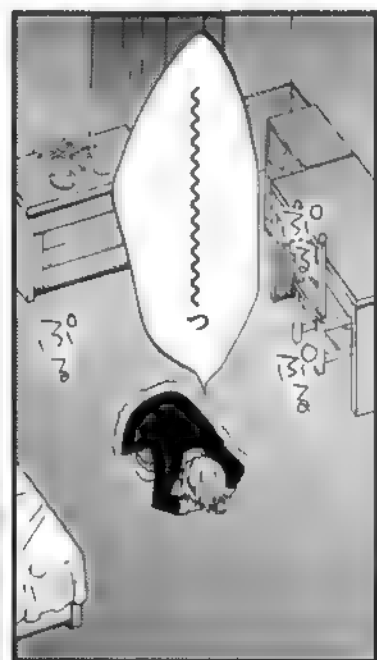
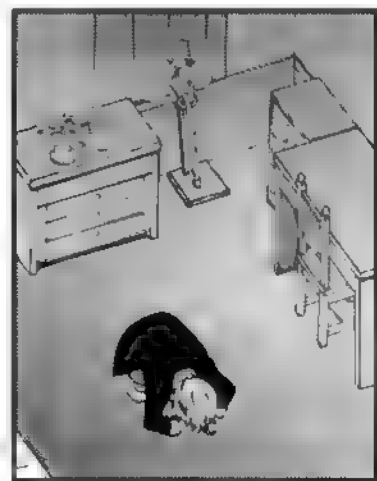
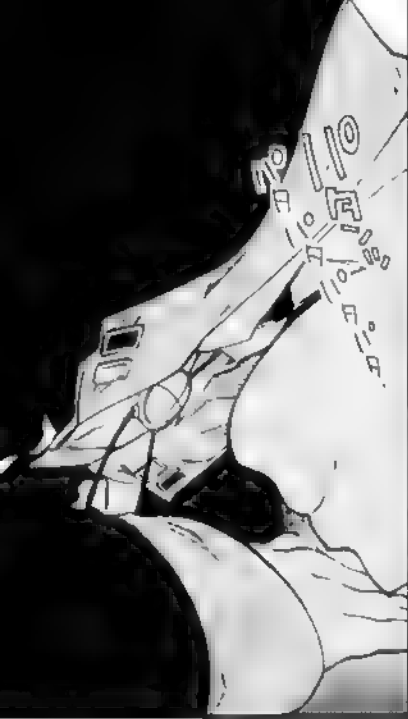
それまで  
我慢しなさい！！



ルーデウスが  
すごく…  
エッチだってことは…  
知ってたもん…

でっでも







# 第16話

## ターニングポイント





アレ？

ほら…空に  
浮かんでる…

赤い…珠…  
みたいな？

ああ  
アレか

あたしも  
気になって  
以前サウロス様に  
伺ったことがある

なんでも5年ほど前  
気がついたら  
そこにあつたらしい

悪いものでは  
ないそうなの

へえ…

…なんだろう





書がないんなら  
いいんだけどさ



よう坊主

いい材料が  
入ったんだ  
新作の人形も  
期待してるぜ



あらルーデウスちゃん  
お出かけ？

これおやつに  
持っていくなさいな  
お婆さんの  
サービス♡



まあ  
ルーデウス  
ぼっちゃま  
ごきげんよう







幼い頃<sup>こころ</sup>悪童と  
言われていた  
あたしも

読み書き  
算術まで覚え  
杖ももらうことが  
できた



3年前と比べて  
お嬢様もずいぶん  
ご成長されて



それにくわえ  
お前は自身の  
勉学にも励み

四力国語を  
扱える域に  
きたうえに



もう  
ボレアス  
どころか

ロアの街にまで  
受け入れられている



お前は  
すごい

尊敬できる  
大した師匠だ  
ルーデウス



この世界に転生して  
本気で生きて

生前の俺と  
変わることが  
できたのかな



あの人なら  
どう思ってくれるだろう



そっそれよっ！  
ソンケー？  
わっ私も言おうと  
思ってたのよ！！

いやー  
あのパウロの息子とは  
とても思えんな！

…すごい…か







はあ、まったく……  
この王は  
色ごとを覚えてから  
手に負えない

どうしても  
ルーデウスと  
くらべてしまふ



なに!? 余に  
意見するか!?  
謝るなら  
今のうすだぞ!?  
その男あつ暗殺  
してやろうか!?

できるものなら  
どうぞ

たふさふさ

きんきん



ルーデウスは  
すごかった

こちらが  
なにかひとつ  
教えると  
10も20も学ぶ  
聡い子だったから



あんな生徒に  
出会ってしまった私には

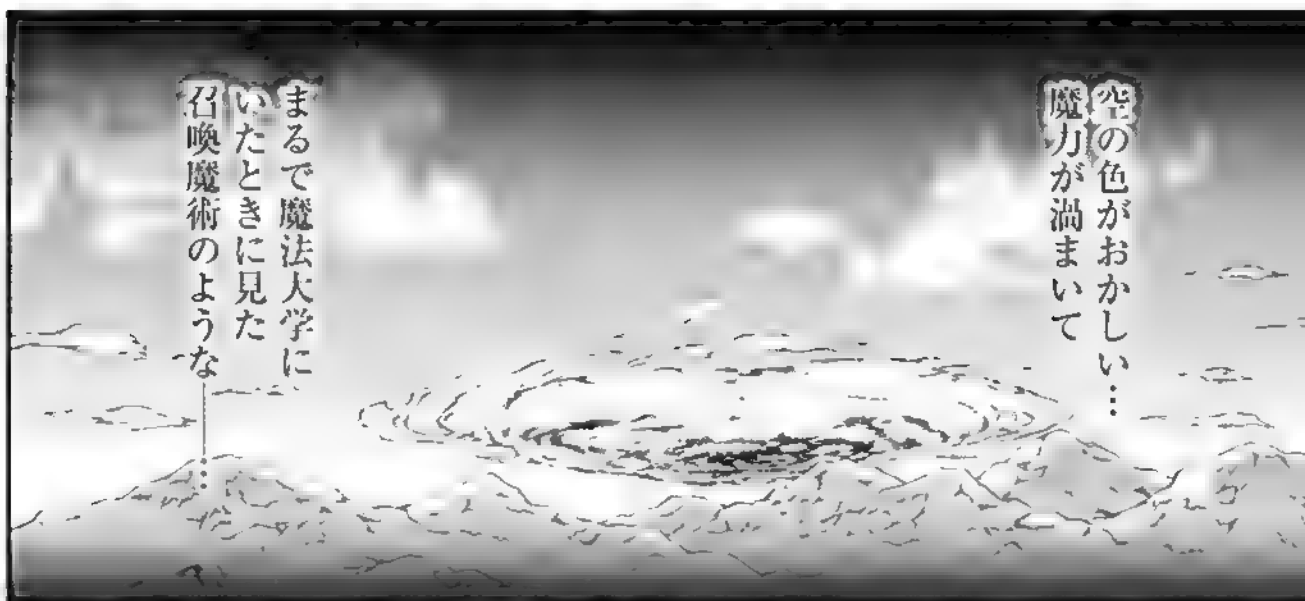
もう二度と  
教師など  
できないのかも  
しれない……

ん?



………？

あれは  
なんでしょうか……？



空の色がおかしい…  
魔力が渦まいて

まるで魔法大学に  
いたときに見た  
召喚魔術のような



あの方角は東…  
アスラ王国  
でしょうか……？

まさか…







最強最大の  
奥義を  
ご覧いただき  
ましょう—!!!

さあ！それでは  
皆さまおまちなね  
ルーデウス・  
グレイラットの  
本気



フハハハハ!!  
集えよ魔力!!

偉大なる  
水の精霊  
にして



天に上がりし  
雷帝の  
王子よ……





ん？



この空の色…？

なんだ…？



する…



ちよちよつと  
なによあれ!?  
あれもルーデウスの  
しわざ!?

ちち違いますよ!  
まだなにも  
してな…



ねねえ  
もう家に  
帰りましょう？



あれは凄まじい  
魔力だ

それがロア上空に  
渦まいている…

え!? 魔力が  
見えるんですか  
ギレーヌ!?

ああ



いやだめだ  
むしろ街から  
離れたほうが  
いい

でっでも  
それじゃ  
お父様たちが…



一体

なにが起こって…





ルークンニ!!

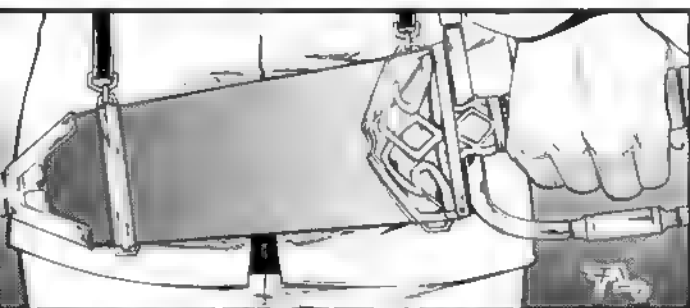
伏せ!!

カカ!!

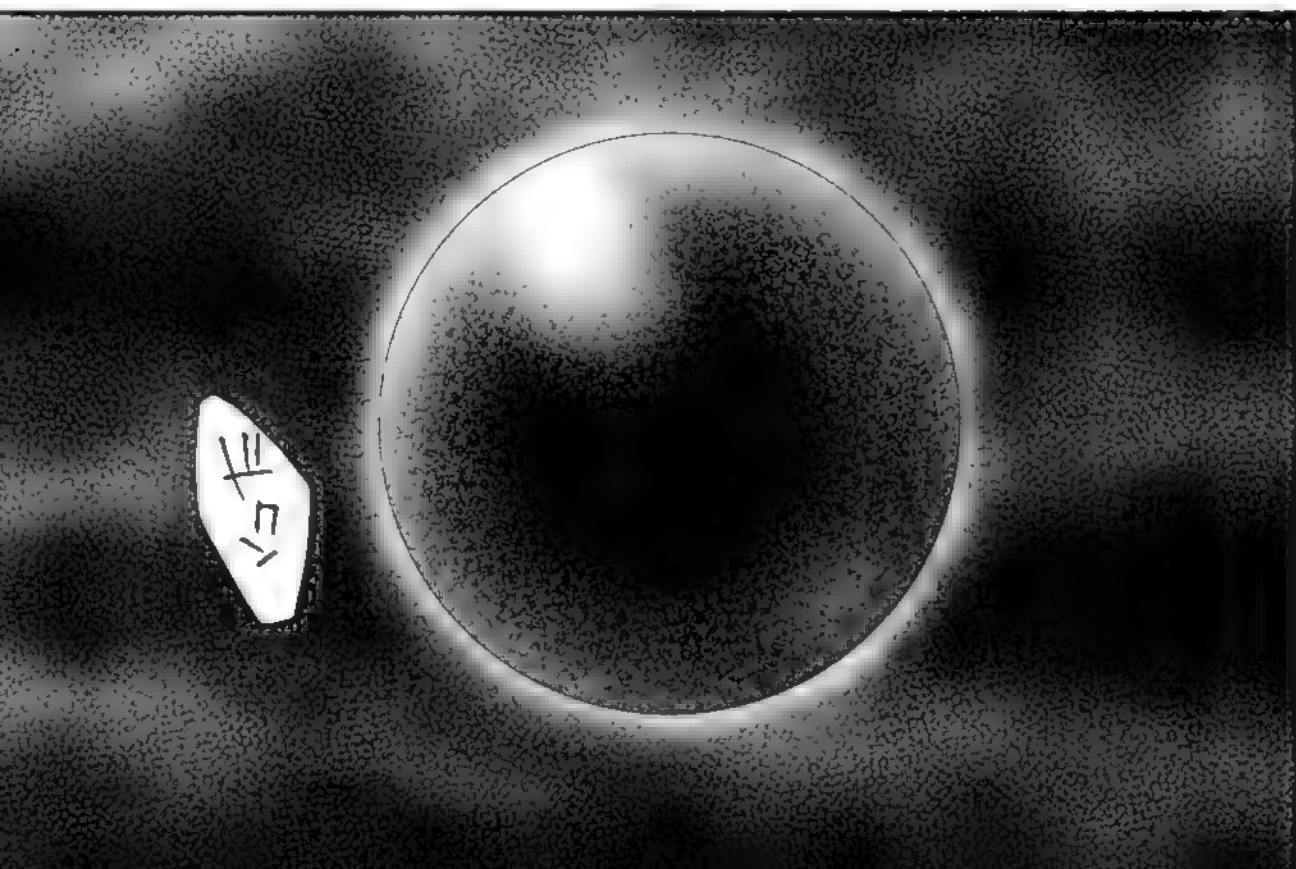
光の太刀!!!

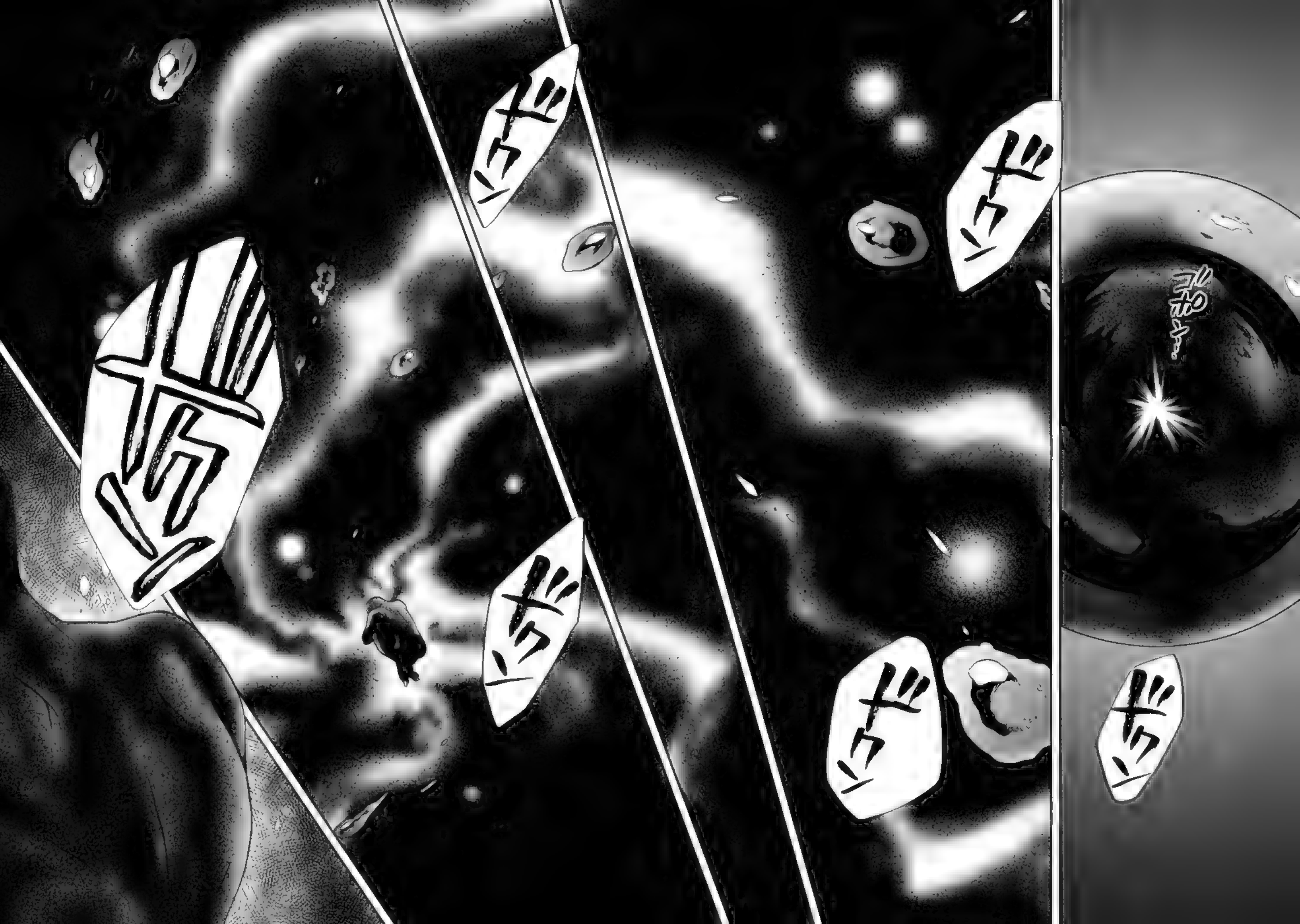






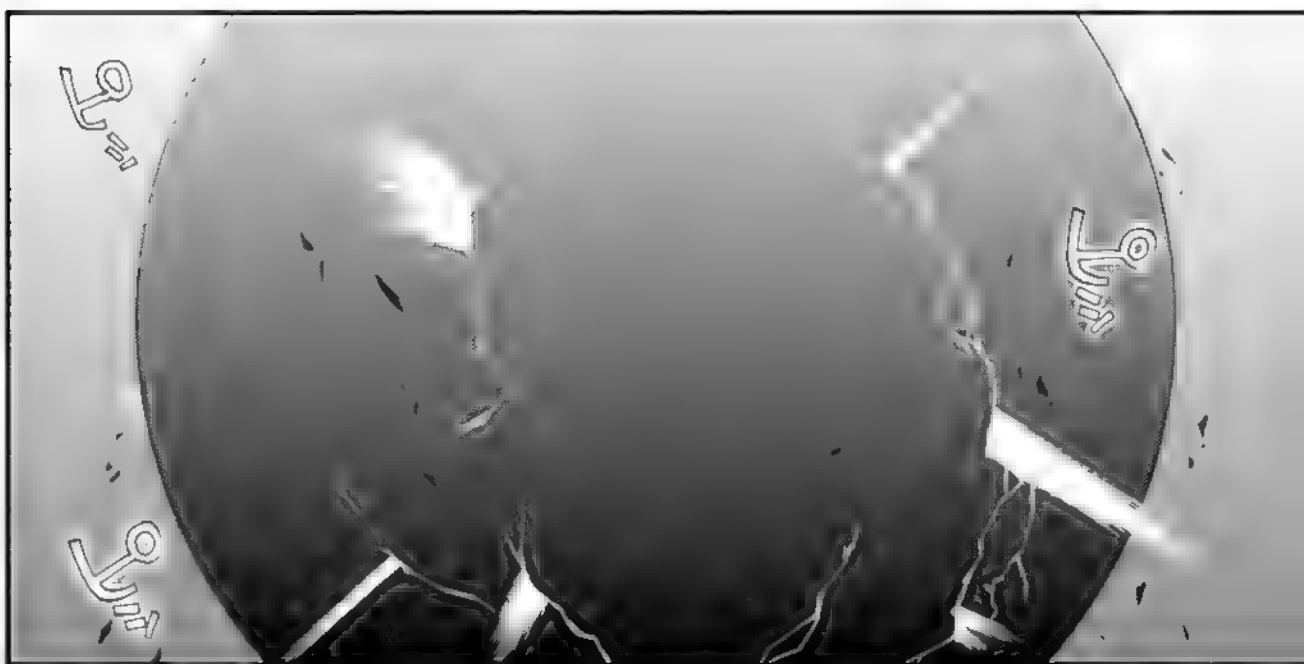
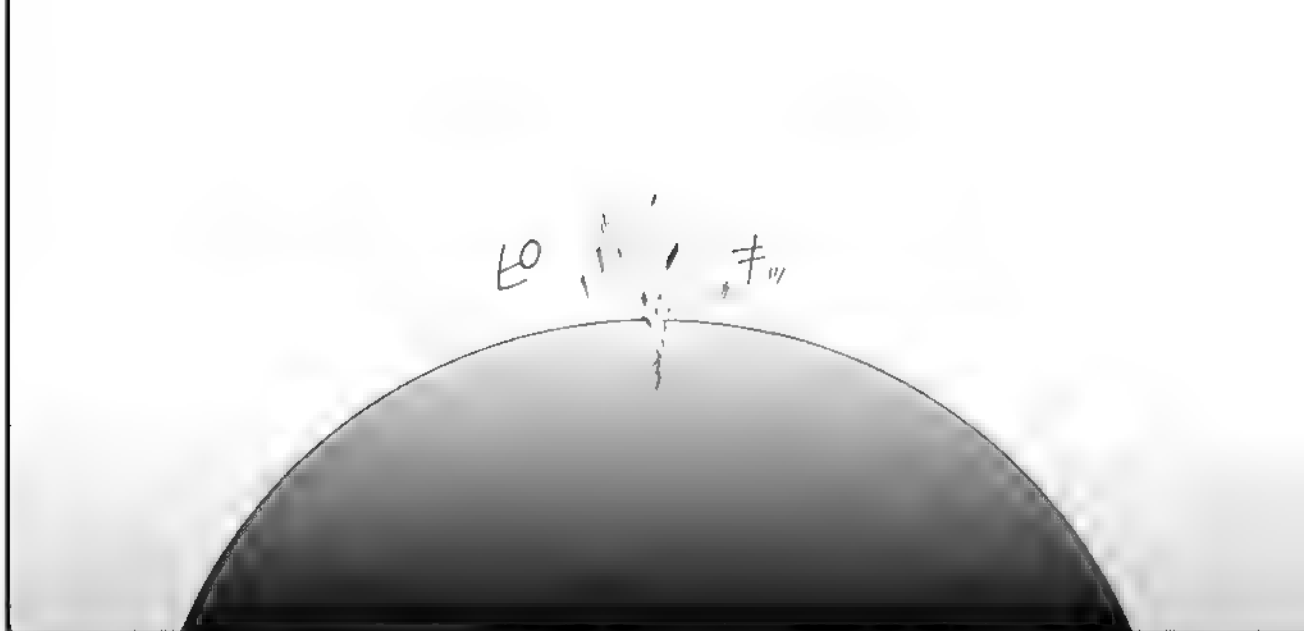


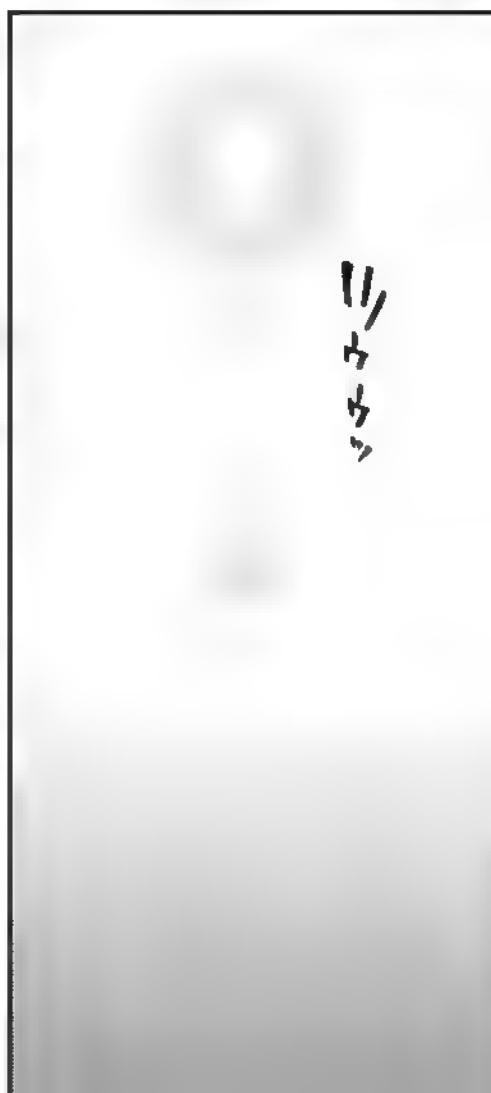












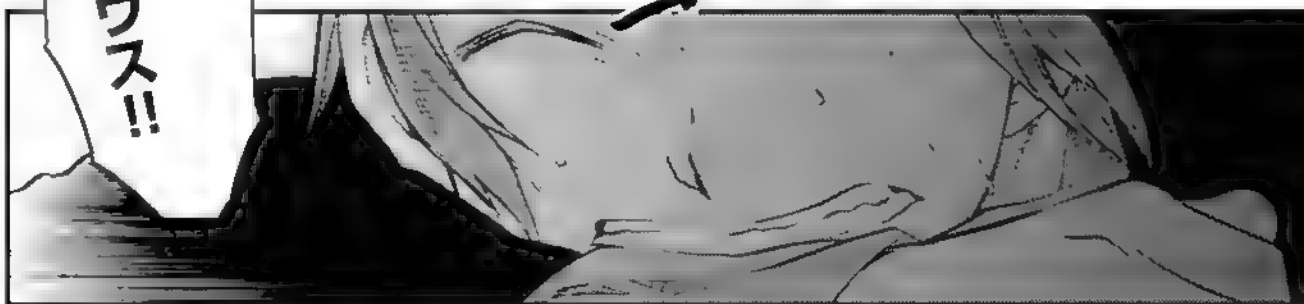


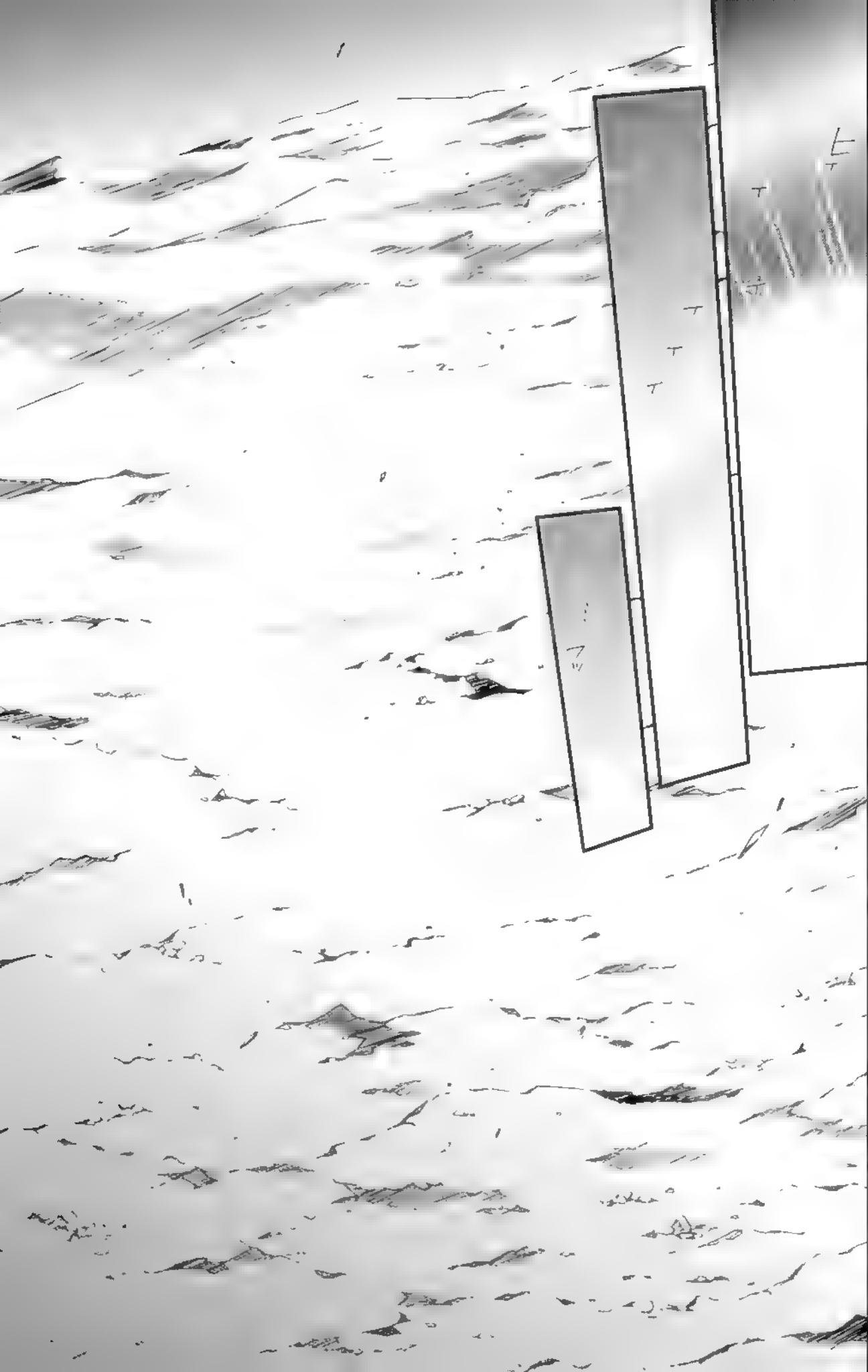












お

い

エリッスー!!

ハッ

ハッ

ハッ

ギレーヌー!!

サウロス様

フィリップ様

みんなどこ  
行ったんだよ

パウロ父様  
ゼニス母様

リーリヤ  
さん

……ッ  
シルフィー……!





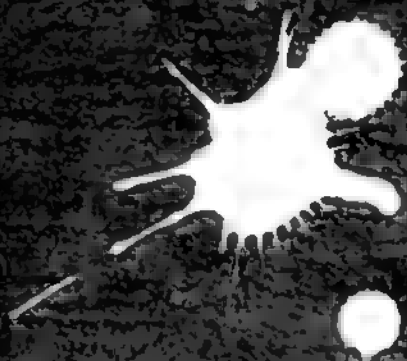




—To be continued Vol.4.

# 無職の森

異世界から  
本気だす



## 知己との再会

著…理不尽な孫の手

エリス10歳の誕生日の8年前。

当時のフィリップは落胆と退屈の日々を送っていた。

政争に負けて、ボレアス家の当主の座を奪われてから約1年。

ロアの町長という地味な仕事をしつつ、ノイローゼ気味になってしまった妻ヒルダをなだめつつ、サウロスに怒鳴られる日々だ。

怒鳴られるのは幼少の頃からのことゆえ気にも留めなかったが、ロアという町では自分の力を○  
○%発揮できず、もどかしさも覚えていた。

そんなある日のことである。

フィリップのもとに、パウロ・グレイラットが現れた。

パウロを名乗る男は記憶とは似ても似つかない人物であった。しかし、当然だ。フィリップが最後にパウロと出会ったのは、10年近くも前なのだから。

そんなパウロは、フィリップの顔を見るなり、頭を下げた。

「安定した生活が欲しい、なにか仕事をくれ」

事情を聞いてみると、10年ほど前にノトスの家を出奔した彼は、冒険者としてミリス大陸や中央大陸南部を旅していたが、ひとりの女性を妊娠させてしまったため、責任を取るべくアスラ王国へと戻ってきたのだという。

彼の隣にいたのは、その妊娠させたという女性だった。

ミリス系貴族の顔立ちの美人で、確かに妊娠とわかるほどに腹が膨らんでいた。

「……」

アスラ王国では、子育てをするなら一箇所に定住するのが望ましいとされている。

そのため、パウロはアスラ王国へと戻ってきて、しかし後ろ足で砂をかけて出奔したノトスには戻れず、ボレアス——古い友人であるフィリップを頼ってきたのだ。

頼む。お前しか、頼める相手がいないんだ」

パウロは、やや戸惑うフィリップに対し、膝をつき、頭を下げた。

このような挨拶は、町人や職人のものである。アスラ貴族がするものではなかった。

ゆえに、フィリップは侮蔑的な目で、パウロを見た。

パウロ・ノトス・グレイラットという男は、ノトス・グレイラットの長男だ。つまり本来なら、ノトスの当主になる男だった。

しかし、それも過去の話だ。

出奔と同時に勘当扱いとなったパウロは、もはやアスラ貴族ですらない。

利用価値は存在せず、フィリップにとってはゴミも同然であった。

「トーマス、彼らを——」

フィリップが執事に命じ、冷淡にもふたりを叩き出そうとした瞬間、

バンッ！

と、部屋の扉が大きな音を立てて開け放たれた。

のしのしと応接室に入ってきたのは、サウロスだった。

彼は膝をついているパウロを見下ろした。

「フン、パウロか！」

「サウロス様、お久しぶりです」

「でかくなったな！　だが相変わらず貴様は挨拶の仕方を知らんと見える！　それが榮えあるアスラ貴

族の挨拶か！」

「今の俺……私は、アスラ貴族とは、関係ありませんので」

「愚か者め！　貴様がアスラ貴族と無関係であれば、この館に踏み入ることすら許さんわ！」

その言葉に、パウロはハッとしたような顔をして、しかしやはり膝はついたまま頭を下げた。

「しがし、スジが通っていないことは、わかっていますので」

「フン！　そういうところは父親譲りだな！」

父親と聞いて、パウロの顔が歪んだ。

「あの男はスジの通らんことは大嫌いだった！　だが、奴は杓子定規すぎるのだ！　15年ほど前に奴の館で酒を酌み交わしたときもそうだった！　奴は酒瓶の中身まで等分しようとしたのだ！　ワシがこっちのワインはまずい、飲みたくないと言っても、自分もまずいと思うからふたりで分け合おう、蓋を開けたなら飲むのが礼儀だとわざわざ——」

サウロスの長い話が始まる中、フィリップは、ふと昔のことを思い出した。



15年ほど前。

フィリップが学校に入る前だから、4歳か5歳ぐらいのときか。

ある日、サウロスはノトスの領土であるミルボッツ領へと赴くことになった。

そのとき、フィリップもその旅に同行していた。

フィリップにとって初めての遠出の旅だった。初めてフィットア領の外へと出たのだ。

初めて見るミルボッツ領のぶどう畑や風車小屋に興奮<sup>おほほ</sup>していたのを憶えている。

そして、その興奮はノトスの屋敷に到着し、サウロスとノトスの当主が昼間からワインを叫<sup>おほ</sup>り始めてもなお、続いていた。自分の家と同じぐらいの広さを持つその屋敷は、フィリップの好奇心を刺激するには十分であったからだ。

フィリップはサウロスの目を盗むように部屋を脱出し、屋敷の探索を始めた。

いつものフィリップであれば、そんな腕白<sup>うでびろ</sup>な行動などせず、サウロスの傍<sup>そば</sup>か、あるいは与えられた部屋でじっとしていたことだろう。そうしていれば、使用人あたりが気を利かせて、なにかおもちゃやお菓子を持ってきてくれるため、退屈が紛れるからだ。

初めての遠出の旅が、フィリップを大胆にさせていた。

しかしノトスの屋敷は、ボレアスの館ほど面白い構造をしているわけではなかった。

同じような部屋が同じように並び、同じような光景が続いているのだ。

窓の外を見れば、あるいはなにか面白いものが見えたかもしれないが、フィリップの背丈は窓ガラスから

外を見るには少々低すぎた。延々と続く廊下に、扉。

面白そうなものは一切存在せず、フィリップはすぐに探索に飽きてしまった。

飽きてくれば、次に思い浮かぶのはサウロスの顔だ。

勝手に出歩いたと知れば、かんしゃく持ちの父親はすぐにフィリップの頭にゲンコツを落とすだろう。

早く戻らなければならない。

「あれ？」

しかし、そう思った時には、すでに遅かった。

すでにフィリップは迷っていた。

自分がどの部屋からやってきたのか、どういうルートを通ってきたのか、わからなかった。

そう、ノトスの屋敷は外敵に備え、既視感を植えつけるような構造になっていたのだ。

フィリップはそれでも、なんとか記憶を頼りに、最初にいた部屋へと帰りつこうとした。だが、迷子<sup>まよこ</sup>が歩けばさらに迷うのが道理。フィリップはあつという間に、自分が今何階にいるのかすら、わからなくなってしまった。

フィリップは心細くなり、不安げな面持ちで、屋敷の中をさまよい歩いた。

「父上……どこですか……誰<sup>たれ</sup>かいませんか！」  
道を聞こうにも、呼べど叫べど、誰も来ない。

このとき、運悪く使用人は昼の休憩時間であり、屋敷の中はほとんどが無人であった。無論、まったくの無人というわけではないが、フィリップが立ち入ったのがあまり使われていない区画だったため、誰もやつてくることはなかった。

迷っていた時間は、せいぜい十分といったところだっただろう。だが、フィリップにとってその時間は一時間にも二時間にも感じられた。

「う……うえ……」

やがて彼は行き止まりにたどりつき、あまりの心細さから座り込んで泣き始めてしまった。

「うええええん……うええええん……」

泣けども泣けども、誰もきてはくれない。

自分はこのまま、迷路のようなこの屋敷の中で餓死してしまうんだ。

「おい」

そう思ったとき、フィリップの背中に影がさした。

「ひつく……ひつく……」

フィリップは泣きながら、その影の持ち主を見た。

それは明るめの茶髪を持つ、ひとりの少年だった。

年の頃はフィリップと同じぐらいか、やや上といったところだろう。身なりはよかったが、ズボンの裾<sup>すそ</sup>にドロがついており、襟元は少し破れていた。

「なに泣いてんだ？」

「た、探検、してたら、ま、ま、迷っちゃって……父上が、どこにいるか、わかんなくて」

「そうか、じゃあ、ついてこい！」

少年はあごで廊下の先を示し、歩き出した。

「う、うん」

フィリップは涙を拭<sup>ぬぐ</sup>って、少年のあとを追った。

それが、フィリップとパウロ・ノトス・グレイラックとの出会いだった。

フィリップはその後、その少年が道案内をしてくれ

るものと思つてついでいき、少年の遊びにつき合はされて、夕方になる頃には泥だらけにされてサウロスに叱られてしまふのだが、それは置いておこう。

不思議と、フィリップはパウロとの縁があつた。

その後もサウロスは何度かミルボツツ領へと赴き、その度にフィリップはパウロと遊んだ。

フィリップが7歳のときに首都の貴族学校に通い始めると、そこにはパウロがいた。フィリップとパウロは不思議と気が合い、どちらからということもなく、つるむようになった。

頭の悪いパウロに、腕の節の弱いフィリップ。ふたりは互いの弱い部分を助け合いながら、多くの無茶をした。今になつて思えばなんであんな悪事を……と思うようなことも、パウロと一緒であつたなら、平氣で行えた。

あるいは親友と言つてしまつてもいいほどに、仲のよい関係であつた。

それがいつからだろうか……フィリップが、損得でしか人間関係を築けなくなつたのは。

学校を卒業して、実家に戻つたはずのパウロが父親と喧嘩をして、出奔したと聞いた頃からだつた。

ろうか。

それとも、兄であるジェイムズとボレアスの当主の座を競つたときだつただろうか。

気づいたときには、フィリップは他人を値踏みし、利用価値があるかないかでしか人を判断できなくなつてしまつていた。

「……」

今、パウロが頭を下げている。

アスラ貴族という名のレールを外れたパウロ。もう二度と会うとは思つてもいなかった彼が、生まれてくる子供のためにと頭を下げている。

人は変わるものだ。だがフィリップの目には、パウロがあの日、フィリップを助けてくれたときと比べ、あまり変わつていないように映つた。

姿形は当時のパウロと似ても似つかないのに。

「トーマス。ブエナ村の駐在騎士が、このあいだ、魔物との戦いで死んだばかりだつたな。彼は剣が達人だ。任せてみよう」

気づいたときには、フィリップはそんな言葉を口にしていた。

パウロは驚きを隠せない表情で、フィリップを見上げた。

「フィリップ……」

「身分としては下級貴族。市場すらない辺鄙な村での田舎暮らしだけど、構わないよね？」

「もちろんだ！ 恩に着る！」

パウロは喜色満面の笑みを浮かべ、頭を下げた。

それから8年後の今、

当時は、あんなことを言った自分の行動の意味が、わからなかった。

昔のことを思い出しただけで、なぜこんな利用価値の薄い男を抱え込んだのか、わからなかった。

しかし今、エリスの10歳の誕生日が無事終了するのを見て、フィリップは思う。

パウロは変わったのだ、と。

フィリップは数ヶ月前、エリスがダンスの基本的なステップすら踏めないとわかったとき、10歳の誕生日はエリスにとって苦い思い出となるパーティーになるだろうと思っていた。

当日になってみると、エリスはきちんとステップを踏めていた。

10歳にしてはつたなさが残るステップだったが、ダンス中のエリスはフィリップの目から見ても実に

楽しそうで、父親のひいき目から見ても魅力的に映った。半ば絶望視していたが、もしかするとエリスが15歳になる頃には、立派なレディーに成長しているかもしれない。

（それもこれも……）

フィリップの目がエリスの隣に立つ、ひとりの少年を向く。ルーデウスだ。

彼のおかげで、エリスは変わった。大きく変わった。

そして、パウロもまた、ルーデウスのおかげで変わった。ガキ大将のような男から、ひとりの父親に変わった。

そして、パウロに仕事を与えたあの瞬間、自分もまた、少し変わったのだらうとフィリップは思う。

間接的にだが、ルーデウスの影響で変わったのだ。

そんなルーデウスがエリスとギレーヌをどこかへと連れて行くのを見ながら思う。

彼はパーティー中に料理を自分の部屋に運ばせていたから、そこでまたエリスのごきげんを取るのだらう。

（ルーデウスは教師としても優秀だけど、将来も有望だ）

粘り強さや辛抱強さを持ちつつも、各所に小細工を弄するそのやり口は実にフィリップ好みのものでは

り、ついつい悪い笑みがこぼれてしまう。このまま  
彼が成長し、エリスをしつかりと御すようであれ  
ば、政略の道具としても使っていけるだろう。

しかしその反面、彼をそうした道具として使うの  
はいけない、と思う気持ちが湧いてくる。

以前のフィリップであるならば、なんのちゅう  
ちもなくルーデウスを政略の道具として仕立てて  
いっただろうに。

「ふふ……」

フィリップは己の感覚に若干のおかしさを覚えつ  
つも、ふと思った。

もし、ルーデウスがノトスの当主になり、エリス  
をボレアスの当主にしたら、自分はまたパウロと肩  
を並べることもできるのではないだろうか、と。あ  
の頃のように、ふたりで共に悪巧みをして、その成  
否を肴に笑いながら酒を飲み交わすこともできるの  
ではないだろうか、と。

「……僕が当主になるより、そっちの方が面白そう  
だ」

フィリップは自分の考えに笑いながら、これから  
の予定について考えるのであった。

コミックス 3 巻発売です!!

私のオススメは 12 話。

2 巻のイライエリスそぶりのヒルダ!! 怯えるルーデウス!!

ストレスで抜けるアモ!! 舞うアモ!! 植殖するアモ!!

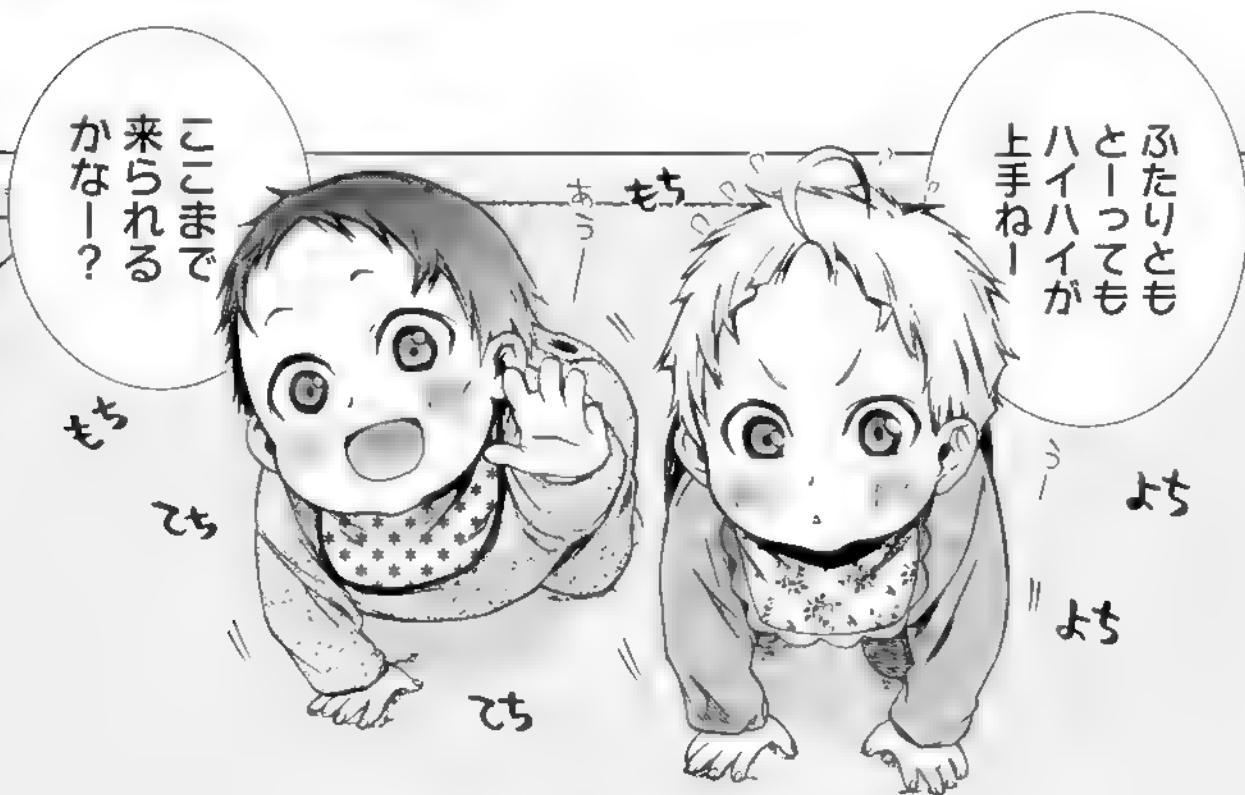
どうぞお楽しみください!!

理不尽な孫の手



side  
story

### グレイラット家の奥さん









こっちの  
ノルンが  
私の子

ノルンと  
アイシャは  
いわゆる  
異母姉妹  
なのである

あらノルン  
おねむかしら

そろそろ  
休みましょうか

そうですね



あーあー  
じゃあ...

オレもそろそろ  
ねよつかないと...

あつそう

性欲の  
パウロ

もとい

私の犬であり  
ノルンと  
アイシャの父

そしてコレが  
すべての元凶







…  
ひどい



でもなぜ？  
なぜよにもよって  
パラボとリーリヤが？



信じていたのに

ずっとふたりで  
私をだましてたの!!

ヒドイ

よくも

もうやだ

許せない

許せない

裏切り者!!

許せない

許せない



許せ…

母様

けど



一度にふたりも  
兄弟ができたのに

どうして  
こんなにも  
重い雰囲気  
なのですか？

許す  
きつかけを  
くれたのは  
ほかでもない  
私の自慢の息子

ルデイだった



賢く聡明な彼は  
いち早く状況を  
理解し

わざと  
子供っぽい態度で  
その場を収めようと  
していた

理由は簡単だ

母様

彼は  
恐れて  
いたのだ

僕にとっては

両方とも  
家族で  
兄弟です!!

家族関係が  
壊れてしまう  
ことを

だから私は  
ルディに免じて  
許した

すべては  
子供のためだ

けど  
そのルディも  
今はこの家に  
いない

かわいそうなルディ  
妹に尊敬される  
兄になると  
はりきっていたのに

この可愛い妹の  
寝顔を5年も  
見られないなんて



…もしかして  
家にいながら  
この顔を見られないのも  
かわいそう  
なのかも……？

なあ  
母さ～～ん



…

ギッ

ひとりで寝るの  
さみしいよ～～



そろそろ  
寢室に  
いれて  
くれよ～～



リーリヤとは  
お前に3人目が  
できてどうしても  
我慢できなくなった  
ときだからって

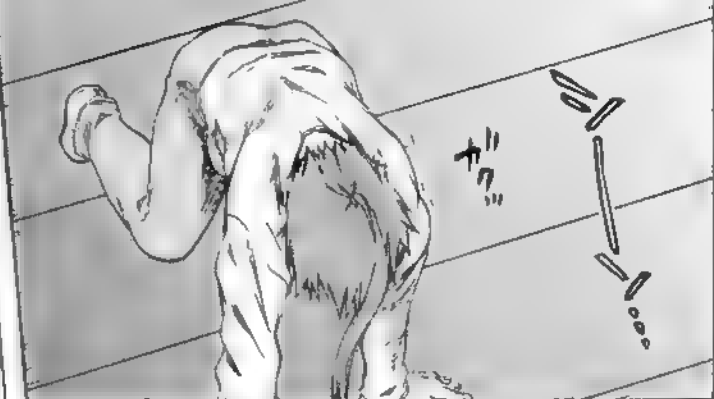
なに言ってるんだ  
約束したじゃ  
ないか



なによ

ひとりが嫌なら  
リーリヤのところ  
に行けば  
いいじゃない













MFコミックス フラッパーシリーズ

# 無職転生～異世界行ったら本気だす～ 3

著者:フジカワ ユカ

原作:理不尽な孫の手

©Fujikawa Yuka 2015, Rifujin na Magonote 2015

2015年9月30日 発行

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました

MFコミックス フラッパーシリーズ

『無職転生～異世界行ったら本気だす～ 3』

2015年9月30日初版発行

発行者 青柳昌行

発 行 株式会社KADOKAWA

<http://www.kadokawa.co.jp/>

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

0570-002-001 (カスタマーサポートセンター)

年末年始を除く平日10:00～18:00まで

編集企画 コミック&キャラクター局

フラッパー編集部

---

cover illustration: Yuka Fujikawa

cover design: Kazuhiro Ueda (ueda design room)

cover format design: Fie dwork

---

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本作品を第三者に譲渡することはできません。  
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

第11話 ◆ バースデー 001

第12話 ◆ 昔話 031

第13話 ◆ 恋の迷宮 043

第14話 ◆ サプライズ 069

第15話 ◆ 確約 097

第16話 ◆ ターニングポイント 113

書きおろしSS ◆ 知己との再会 151

side story ◆ グレイラット家の奥さん 161

# 無職転生

異世界行ったら  
本気だす

③

フジカワ ユカ  
FUJIKAWA YUKA

原作:理不尽な孫の手  
キャラクター原案:シロタカ

第11話

パースデー

10歳の  
誕生日  
おめでとう!!

ルーデウス!!!





おめでとう  
ルーデウス！

…おめでとう  
ございますわ

めでたいな  
ルーデウス!!











